

校内意見発表会で農業に対する想いを発表

学生が日頃考えている農業に対する想いや情熱・将来ビジョンを意見としてまとめ、それを発表する校内意見発表会を12月7日(金)に開催しました。

桂川校長より、「大きな夢を持っている学生がおり、今後実践してくれることを期待しています。発表ではプレゼンテーション能力が求められます。大きい声ではっきりと伝わるようにスピーチしてほしい」と激励の開会あいさつがありました。また、高木副校長より、「今年はテーマがバラエティに富んでおりおもしろい。皆さんはこれからの農業をひっぱっていく人材です。夢の実現に向けて頑張してほしい」と講評がありました。

抑揚をつけたり、人の顔を見て話すことができた学生は少なく、自分の思いをしっかりと人に伝えるというのは難しかったようです。しかし、26人それぞれ農業に対する想いや将来の夢を考え語るという作業を通して、自分と向き合うことができたと思います。夢がかなうようぜひ実践してほしいものです。



↑発表する1学年生 と 発表した想いや夢↓

失敗から学ぶことも多くある。失敗恐れず何事にも挑戦していきたい	岐阜県で活躍できるようになりたい。羽島市で地域特産品にできる熱帯フルーツを栽培したい
変わらないために変わり続けることが出来るような農家でありたい	自らお客さんに直接販売して、ニーズを取り入れ儲かる農業を目指していきたい。

独立しこれからの畜産業界を引っ張っていきける人材になれるよう頑張る	販売、流通ができる企業に勤め、飛騨牛を他県の方に幅広く知ってもらい「和牛といったら飛騨牛」そんな世の中にしたい
人は失敗や間違いをするからこそ成長していきける。全部乗り越えてどんなことにも負けない精神力で頑張る	いちごの観光農園で働き、農業の楽しさを教え、農業に少しでも興味をもってもらおう。
私の理想の農業は、農業に従事するすべての人が支援・補助されること。金銭的なことだけでなく栽培技術や知識を受け継ぐこと。地元の農業を活性化させ地域に携わりたい。	地域の農業従事者が業種を超え一つの大きな団体となり会社として経営していくことが後継者の確保や今後の農業の発展に繋がる。このような企業でも活躍できる技術者になりたい。
私が目指す農業は従来の方法から進化させた最先端のテクノロジーを取り入れ、かつオープンに世界に広がってゆくような農業経営	自分たちが美味しく野菜を食べられるのは地道な作業をして野菜を育ててくださっている農家さんのおかげ。農業に携わる仕事をしたい。
農業をする人が少しでも増えていって耕作放棄地を少しでも減らすことが私の夢	後世に引き継ぐためにも自らが工夫を凝らし続ける。やり続けることは将来につながっていく。私ができることを積み重ねていきたい。
私がやりたい農業は、品質が良く収量が多く収入が高く計画性があり周りの農家さんとコミュニケーションを取りながらできる農業	JAに就職し、地元の郡上トマトを大きな産地にしたい。もっと郡上をPRしていき、盛り上げていきたい。
これまでよりもいろんな野菜の知識を身につける。地元を盛り上げていきけるようになりたい。	大好きな地元のために自分でも何か役に立てることがあればやっていきたい。その思いと日和田の魅力を多くの人に伝える
自分の育てる牛に愛情と誇りと責任をもって仕事をする。広い範囲で目をむけられるようになって、多くの方々の力になれるようにしたい。	6次産業に携わりたい。経験を積み自分をもっと成長させる。目の前にあるやるべきことを必死にやっていく。
稲作とトマトを両立して複合経営にする。土地や作業を受け継ぎつつ自己流に改良しながら経営していきたい。	JAの販売事業に携わり、組合員農家の生産した農産物の販売をしたい。農産物を良い品質で出荷したり加工することでたくさんの人に知ってもらえる商品にしたい。
共進会を盛り上げてさらに地域も盛り上げるのが私の夢	農業は自分の意見を持ち他にとらわれない生き方ができる素敵な職業。地元で農業をし、飛騨市に貢献していきたい。
いつもの生活に進路の自覚をもち、少しずつ具体的に農業に携わる生活設計を考えていきます。	きゅうりの魅力を伝えていきけるような農家になりたい。中学生や高校生に農業の魅力を伝えていきたい。